

平成29年度 災害ボランティアセンター 体制整備支援事業を 実施しました。

徳島県社会福祉協議会では、災害時における災害ボランティアセンターのマニュアル作成や普及啓発、人材育成等を進めることで、発災時の災害ボランティアセンターの迅速かつ円滑な設置・運営と、要援護者の視点に立った社協らしいきめ細やかな生活支援を、地域の関係者・団体などと分野を超えて連携・協働を行いながら実現していくことを目的に、「災害ボランティアセンター体制整備支援事業」を市町村社会福祉協議会や各関係団体等と連携して県内3箇所で行いました。



とくしま
福祉広報

193号
march.2018

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/



ボランティア・
NPOの情報紙
42号 march.2018

とくしま県民活動プラザ

770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
e-mail: info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvc.jp



マスコットキャラクター プラザ

ひと42号 march.2018

CONTENTS

特集 えがお +for kids sports
スポーツでとくしまの子どもたちを笑顔と元気に!

和楽器の楽しさ
ひと NPO 法人全国邦楽合奏協会
理事長 藤本 玲さん

シリーズ・このひとから
「いやしの連句とカウンセリング」
～心と心を紡ぐ文学の連句と連詩を通し～
徳島県カウンセリング研究会 会長 日下 正幸さん
出会いを大切に 小松島市社会福祉協議会
地域福祉係長・ボランティアコーディネーター 村上 直美さん

ハートリレー
No.42 土井さんから鈴木さんへ

New face
NPO法人 AWA PROJECT

美波町

- 日 時：平成29年11月12日（日）
- 場 所：美波町立日和佐公民館
- 参加者：海陽町社協、阿南市社協、那賀町社協、美波町社協、牟岐町社協、徳島弁護士会（延べ99名）



徳島市

- 日 時：平成30年1月8日（月）
- 場 所：徳島市ふれあい健康館
- 参加者：徳島市社協、市町村社協、徳島弁護士会、徳島大学、四国大学、地区民児協・地区社協、関係機関等（延べ117名）



つるぎ町

- 日 時：平成30年1月27日（土）
- 場 所：つるぎ町就業改善センター
- 参加者：つるぎ町社協、東みよし町社協、三好市社協、美馬市社協、徳島弁護士会等（延べ62名）



えがお +for kids sports

「えがお +for kids sports」は、「スポーツでとくしまの子どもたちを笑顔と元気に!」をモットーに子どもたちの運動の場作りとこれに関わる指導者のスキルアップの場を設けて、子どもたちのスポーツ活動を一体的にサポートしている団体です。スポーツを通して子どもたちに笑顔と元気づくりの場を提供する皆さんの思いや具体的な活動内容をご紹介します。



えがお+for kids sports

スポーツでとくしまの子どもたちを笑顔と元気!!

代表 かしはら はづき 柏原 葉月さん

スポーツマイルリーダー養成講座で「学んだことをもっと活かしたい」、「スポーツを通して、もっと子どもたちを“えがお”にしたい!」という思いから、2012年4月に7人で立ち上げた「えがお+for kids sports」。現在は20人ほどで活動しています。

主な活動は、親子で遊びを通して楽しめる「チャレンジスポーツ」というスポーツ体験教室を毎月1回・第2土曜日に徳島市八万コミュニティセンターで開催しています。バスケットボール、剣道、スポンジテニスなどのメジャーなものからラクロスやバタンクなどあまり馴染みのないスポーツまで幅広く体験できるようにしています。興味はあるけど、あと一歩が踏み出せない。そういう子どもたちの後押しができればいいなと思っています。そして、子どもたちには、「チャレンジスポーツ」を通していろいろなスポーツのおもしろさに触れ、体の動かし方を知り、失敗を恐れず、勇気を持って、どんどんチャレンジしてほしいです。

さらに、指導者のスキルアップを図り、より良いイベントを開催できるよう「キッズスポーツセミナー」も行っています。セミナー参加者は、基本となる体の構造や体の発育、子どもへの接し方などについて学び、子どもに「また、参加したい!」

と思ってもらえるよう研修を深めています。指導する中で大切にしていることは、日常にある遊びの中からスポーツに繋がるきっかけをつくり、「体を動かすこと=楽しい」と思ってもらえるようにすることです。

スポーツ教室の他に、子どもたちと収穫したスタチを被災地等へ送る活動もしています。これまでに、岩手県陸前高田市の米崎中学校にある仮設住宅や熊本県益城町におすすめレシピとメッセージを添えて送りました。徳島のスタチで、身体も心も元気になってほしいという思いで取り組んでおり、今後もさらに交流の輪を広げていきたいです。

幼児や児童が親子でふれあっている時の笑顔、苦手だったことができるようになった時のうれしそうなお顔、「楽しかった」の一言が、私たちの活動の原動力となっています。これからも、子どもたちに、いろいろなスポーツができる機会を提供し、体を動かすことのおもしろさを県内に広めていきたいです。



ごとう たかお 後藤 貴雄さん

特別支援学校を退職後、専門学校で保育学科の講師を務める傍ら、玩具療法士、キッズスポーツインストラクターとして、「えがお+for kids sports」の活動を支えています。乳幼児に遊びを通して運動をする機会を設けて、運動が好きな子どもを育てること。また、子育て世代の親たちには、乳幼児の抱き方や接し方、平衡感覚を養いバランス能力を高める身体の動かし方など、いろいろな関わり遊びをセミナー等で紹介しています。どの方も熱心に受講してくれます。

さらに、高齢者を対象に「孫育て楽しみ隊講座」や「子育て支援員養成講座」の講師を務めることもあります。孫と楽しむ身体遊びを紹介することにより、孫との接し方が変わったり、運動遊びの機会が増えたりしたらいいなと思っています。

私は、幼児や児童が「身体を動かしたら楽しいな」という原体験をたくさんすることで、運動好きな子どもが増えることはもとより、体力向上にもつながることを期待しています。



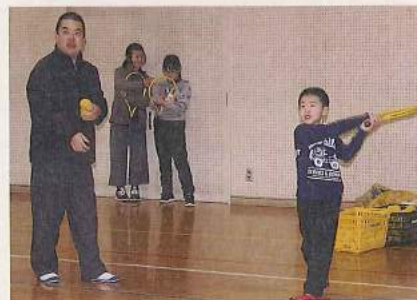
なんぶ ひろゆき 南部 博之さん

高校の硬式テニス部顧問として、指導に役立てようとキッズ上級インストラクターの資格を取りました。それがきっかけで、「えがお+for kids sports」の設立メンバーに加わりました。インストラクター養成講習会では、運動プログラムや指導計画

の作成等、実技以外の面も学ぶことができました。そのことは、部活動の練習メニュー等を考えるうえで、非常に参考になりました。そして何より、生徒には、運動の特性に応じた基本的な技能の定着を図ることが、大切であることを実感しました。部活動を指導していても、基礎・基本ができていなければ、故障やけがに悩まされたり、継続して練習に取り組みなかつたりします。練習量を確保するためにも、運動の基礎・基本となる体力や技能は必要です。

「えがお」のチャレンジスポーツ教室に来る児童のみなさんは、遊びやいろんなジャンルのスポーツを楽しみながら、体の柔らかさ及び巧みな動き、力強い動き及び動きを持続する能力を身につけることができると思います。

この他、徳島大学をはじめ県内の大学生に運動に親しめるレクリエーションをボランティアで教えに行っています。今後も、スポーツを通して社会貢献活動に取り組んでいこうと思います。



我が子が幼いときに体操教室に通い、楽しそうにしている姿を見て、世の中にはこういう仕事があるんだ、やってみようという思いからインストラクターの道を歩んできました。そして、柏原さんに出会ったことがきっかけで「えがお+for kids sports」で一緒に活動するようになりました。現在は、県内の小学校からの依頼で、親とのスキンシップがだんだんと減ってくる小学5・6年生の親子を対象とした「親子ふれあい活動」にインストラクターとして出向いたり、各地で開催される運動教室で指導したりしてスポーツの楽しさを感じてもらおうとともに、親子がふれあう機会のきっかけづくりに取り組んでいます。以前に教えた子どもたちが「先生、



すえひろ けいこ 末廣 敬子さん

できるようになったよ!」と笑顔で声をかけてくれることがあります。離れてからも一緒に運動したことを覚えてくれていることがとてもうれしいです。そんな子どもたちの一言が私の活動のエネルギーになっています。これからも、来るもの拒まず、「一期一会」を大切に活動していきたいです。



みぞがみ ゆみ 溝上 由美さん

「えがお+for kids sports」のメンバーに加入して5年になります。子どもたちには、様々なスポーツの経験を通して運動に親しむとともに、自分が好きな、自分に合った、そして、続けたいスポーツを見つけたいと思っています。そして、将来、自分がこれだと思ふスポーツ

に出合ったとき、躊躇せず突き進んでほしいです。

チャレンジスポーツ教室では、小学校低学年から高学年までを指導しています。何かできた時の子どもの輝く目と笑顔が大好きです。子どもたちは、遊びやニュースポーツを通じて、初対面でも仲良くなり、楽しく活動しています。また、保護者同士も子育ての話をしたり、我が子でなくとも進んで世話をしたりしてくれています。正に、「えがお+for kids sports」に連帯意識が芽生え、一つのチームとして機能していると実感しているところです。

私自身も、子どもたちとの関わりによって、エネルギーをもらっています。さらに若いお母さんたちのがんばっている姿を見ると自分ができる範囲ですが、応援したくなります。これからも、生涯スポーツの発展に尽力していきたいです。



参加者の声

青香福祉会3F
地域交流センター
「親子カラダあそび」
にて



おくもと くみこ あやか 奥本 公美子さん・綾香さん

今回で3回目の参加になりますが、親子カラダあそびに通いだしてから体の動かし方が上手になり、転び方や遊び方が上手くなりました。

柏原さんの教室に通いだしてから、遊び方が上手になりました。子どもがどんどん成長している姿を見るのは、とてもうれしいです。



いいはら ともこ ゆうじ 飯原 智子さん・悠司さん



まつやま ゆかり 松山 由香里さん

ゆうしん かいり 侑親さん(左)・佳織利さん(右)

チャレンジスポーツ教室に通い始めて1年になります。親子で、運動遊びやいろいろなスポーツを楽しんでいます。おかげで、子どもたちも、体を動かすことが大好きになりました。

(取材：菊本佳孝・秋月大輝)

えがお+for kids sports

代表 柏原 葉月

E-mail : egaoplus_fks@yahoo.co.jp

TEL : 090-9191-8168

Facebook : www.facebook.com/egaoplusfks



高校1年生のとき、友だちが通う箏の教室について行ったのが、箏との出会だったそうです。初めて聴いた箏の音に魅かれ、邦楽の道を歩み始めました。初めて演奏した曲は「飛躍」。藤本さんにとって感慨深い曲となりました。

へき地にまでも邦楽を広めたいと、へき地の学校の先生を夢に見て、「自分の自信になるものを勉強したい」と音楽の基礎となる楽典、和声その他いろいろな学科が一流の先生方から学べ、流派関係なく箏と地歌(じうた)三弦(さんげん)を中心に勉強できる場所、正派音楽院に入学されました。音楽院を卒業してから結婚され、8年間東京で生活したのち、徳島に帰り、嫁ぎ先の家業を手伝っているとき、知り合いから誘われて、阿南中学校の箏曲部を指導するようになったそうです。練習熱心な生徒にも恵まれ、指導してきた15年間で、コンクールで7連覇するなど、生徒たちと一丸となり、たくさんの好成績を残すことができたそうです。その後も城東高校で邦楽指導に携わってこられました。

その頃、邦楽をもっと身近に楽しみ、生徒が一流の音楽に触れることができる、総合的な邦楽の祭典を開きたいという夢を描き始めたそうです。

その思いが2007年に城東高校で開催された「国民文化祭とくしま2007」のプログラム「箏 koto 三味 syami 尺八フェスティバル」で花開きました。各地から多くの方が参加される中、藤本さんは全国規模の邦楽の祭典を主催



事務局 平岡 香織さんと一緒に

NPO 法人全国邦楽合奏協会
ふじもと れい

理事長 藤本 玲さん

● 連絡先 〒770-0856 徳島市問屋町43
TEL: 088-655-7066
携帯: 090-4500-9614
メール: info@zensokyo.org
ホームページ: http://zensokyo.org/

し、オリジナル演奏曲を披露するなど、大きな盛り上がりを見せたそうです。

それから、たくさんの仲間に出会い、その方たちとの交流や情報交換により、邦楽活動の活性化に取り組み、大きな成果を得ることができたそうです。徳島県で開催された国民文化祭に出演したことがきっかけとなり「NPO法人全国邦楽合奏協会」を設立しました。

地域、流派、プロ・アマを超え、輪を広げ、皆の力が一つの集団になる過程で、大切なのは「和楽器が好き」、「邦楽合奏が楽しい」という気持ちだと力強く語ってくださいました。全国の邦楽を愛する仲間とともに、邦楽を次世代に伝承し、後継者を育てていきたい。社会貢献活動を継続するためにも、今後、若者が邦楽を仕事として続けられるよう、環境を整えることが大事だと考えています。そのためにも、いろんなことに挑戦し続けたいそうです。

今の時代を生きる子どもたちが、時代に合ったものを創造できるように、徳島を邦楽の発信地として、今後も活動を進めていきたいという藤本さんの熱い思いをひしひしと感じる取材でした。(取材:山田奈津・広岡早紀子)

和楽器の楽しさ



「いやしの連句とカウンセリング」 徳島県カウンセリング研究会 ～心と心を紡ぐ文学の連句と連詩を通して～

くさか まさゆき
会長 日下 正幸

● いやしの連句をはじめて

文学の連歌や連句の形式を使いながら悩みや心の問題を解決するために「いやしの連句」を実践している。

〔例〕 いやしの連句 (七・七後付け)

1. 新しき世の担い手の新成人 日下 草香
君の未来を月と太陽 草光
解説…今月は祝成人の心を込めての連句。
七・七と感ずるままにありのままに付けて
新成人を祝う、そして月や太陽の光が君の
未来を輝かす。さらに、心も体も光を受け
希望を持って進んで行くことができると。
2. この道は親子で進む峠かな 草香
・ 深き思いで春夏秋冬 美代子
・ 命をつなぐ家族の賛歌 正美
・ 少年の夢花開く夏 広太

● 連詩…連と連を紡ぎ五人で詩を創作

〔例〕 第九百年—2018

- ・ 百年の歴史のひびき歌声が ドイツ橋より聴こえる新年 正幸
 - ・ 板東の人々とドイツの人々 ときには笑いときには泣いて 昇
 - ・ 音楽は心と心をなごませ 世界の人々と共に感動する 彦義
 - ・ 地球上のすべての生物の命をまもるためにも平和を願う 心から! 奉哉
 - ・ あらたまの犬のとし すべての人々に幸多きことがおとずれますように! 広太
- 家族がひとつの題のもと連詩を紡ぐ作品の例以上2つの例は、板東公民館新聞まなびいニュースに載せた私の文から切り取る。連句と連詩も「気持」をはきだし、家族のそれぞれがつながりながら生きており、むずかしい人生を生き抜く力を養っている。

日下 正幸

鳴門市板東公民館長、NPO法人まちづくり大麻理事長
カウンセリング、実践教育研究、こころ塾、心いきいキストラクター、作家、詩人、
歌人、フリースクール心庵、学習塾心塾、いやしの連句主催



出合いを大切に

小松島市社会福祉協議会
むらかみ なおみ
地域福祉係長・ボランティアコーディネーター 村上 直美

小松島市社協ではボランティアや地区社協の役員、施設の方等多くの方の協力や支えで、ボランティアセンター事業を進めています。また、全国ボランティアフェスティバルin徳島開催に向けた講習会や交流学会で県内社協のボランティアコーディネーターと、研究会では社協以外のボランティアコーディネーターとの研鑽、交流を深め、こういう時には「あの人に!」と助けてもらえる人がいることはボランティアコーディネーターとして有り難いことです。

小松島市で18年続く休日レスパイトハピフヘホは保護者の声から、活動7年目の傾聴ボランティアくつろぎは他の活動をするボランティアの声から生まれた活動です。その他にも…。これからも出合いを大切に、住民や当事者、ボランティアの言葉や思いに丁寧に向き合っていきたいです。

ボランティアや地域福祉活動を担う世代

の高齢化が小松島市でも進み、若い世代の参画を進めることが課題になっています。そこで、小学生向けに夏休みに実施している手話講習会を春休みにも実施しようとボランティアと企画中。どのようになるか楽しみです。



夏休み子ども手話教室



メンバーとボランティアで散歩に
～休日レスパイトハピフヘホ～



イベントガイド

ホームページ改修

このたび、とくしま県民活動プラザのホームページを全面リニューアルしました。見やすく、そして必要な情報をより探しやすくなるよう工夫するとともに、掲載内容も一層の充実を図っています。

この新しいホームページを通じて、これまでも増して、情報をしっかりと届けて参りますので、大いにご活用いただき、また、ご意見やご提言などを積極的に寄せください。お待ちしております。

平成30年度 貸メールボックス・ロッカー利用団体募集!

無料で
使用できます!

プラザ内のロッカーやメールボックスが使えることをご存知ですか?

会議や作業に使う資料・用紙・文具等を入れておけるロッカー!! 各団体宛のチラシを配布できるメールボックス!!

プラザに団体登録して申請すれば、1年間無料で使用していただけます。1年ごとの更新手続きが必要です。

※平成29年度利用団体さんは3月末で期限が切れますので、それまでに更



新手続きを行ってください。

貸しメールボックス 貸しロッカー

県内NPO・

ボランティア団体のポスターを募集します!

多くの県民のみなさまに、県内で活躍している社会貢献活動団体を知っていただくため団体をPRするポスターを募集します。

●応募要件：県内で社会貢献活動に取り組む、または取り組もうとしている団体・グループ

●応募方法：

(1) 自団体紹介ポスターを作成の上、プラザまで持参、または送付してください。

(2) データとして、メールに添付、またはパソコン、USBメモリー等で持参してください。プラザでA2サイズに印刷します(印刷費はプラザが負担します)。

※データは、ワード、エクセル、パワーポイント、イラストレータで作成してください。それ以外のソフトの場合は、PDFファイルで提出してください。 ※ポスターの枚数は1団体につき1枚です。



ハートリレー

No.42 土井さんから鈴木さんへ



ながよし
三好長慶武者行列まつり実行委員会
すずき しげまさ
事務局長 鈴木 茂幹さん

戦国武将で町おこし

三好市三野町の鈴木茂幹さんは、薬局を営む傍ら、地元三野町が生誕地とされる「戦国最初の天下人、三好長慶」を多くの方に知ってもらう為の活動を行っています。

三野町では毎年11月に「三好長慶武者行列まつり」を開催しています。甲冑や陣羽織をまとった約250名が町内を練り歩く盛大なお祭りです。

私は、お祭りのステージでダンスを披露させて頂いており、それが縁で鈴木さんと共に三好長慶をPRする活動にも参加させて頂いております。春には大阪府大東市、秋には大阪府堺市でお祭りに参加し、甲冑姿で市内を練り歩くなど、全国に広がる長慶ゆかりの方々との交流も深めています。また、観光列車「四国千年物語」が停車するホームで観光客を出迎えたり、老人ホームを慰問するなど地域活性化やボランティア活動にも精力的に取り組んでいます。現在「三好長慶をNHK大河ドラマに!!!」を合言葉に西へ東へと奔走されています。



文・土井 逸子

New face NPO法人 AWA PROJECT

■ 設立について

学習塾に行きたくても行けない子どもたちに、勉強する場所や機会を与えられたらという思いに賛同した仲間が集まり、平成28年10月、NPO法人AWA PROJECTは立ち上がりました。われわれ法人の活動が子どもたちの学力のレベルアップにつながってくればというのが大きな思いです。また、学校の負担を少しでも軽減できるよう、地域が一带となって学校を支える仕組みづくりについても考えています。

■ 現在の主な活動

主として、子どもたちの学力の向上を図るための活動をしています。手始めに、日本数学検定協会とタイアップし、数学検定試験を徳島県で初めて導入しました。初回の今年度は徳島市内の学校に募集したところ、80名を超える受験者がありました。算数は、幼い頃からの積み重ねが大事になってくるので、たくさん子どもたちに興味を持ってもらい、楽しさを味わってほしいと思います。

また、語学学習面では、他団体と連携し、外国人・日本人との相互語学学習『Language Exchange』の場を提供する活動を定期的に開催し、スポーツ分野でもフットサル国際親善大会(11ヵ国70人参加)を主催するなど精力的に活動しています。

■ これからのビジョン

現在、勉強を教えてくれる若い人材が不足していることと、交通費や駐車場代がかからず、子どもたちが安全に通える場所を確保することが一番の課題です。当面の目標として、学習塾に通えない子どもたちが安心して学べる環境を整えていきたいと思っています。また、2020年改訂の小学校からの新要領導入や、急速なグローバル化の時代状況から語学検定や数学検定のお手伝いに関わったり外国人の日本語アクティブラーニングや中国語習得のお手伝いをして、もっともっとたくさん子どもたちに学習することが楽しいと感じてもらえるよう、努力していきたいと考えています。

(取材・文：山下 健一・日下 睦子)



会長 荒木 義則さん(前列右から2人目)

NPO法人 AWA PROJECT
 設立年月日：平成28年10月24日
 住所：〒770-0902 徳島市西新町4-21
 E-mail：2014nippon@gmail.com
 FB：https://www.facebook.com/awaproject/

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!
 一般社団法人 徳島県医師会
 会長 齋藤 義郎
 徳島市幸町3丁目61番地
 TEL 088-622-0264

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間
 開館時間：10:00~18:00
 【研修室利用時間】
 火曜日~土曜日：10:00~21:00
 日・祝日：10:00~18:00
 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合
 JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
 ・中央市場行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
 ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記
 私たちは、様々な分野で活動されている団体さんの熱い思いや信念を多くの方々に伝えたいと思い、紙面を作成しています。ご協力くださった方、ありがとうございました。取材では、ただ活動を拝見するだけではなく、一緒に体験させていただくこともあり、より一層、紙面作成に身が入ります。
 県内のNPO法人やボランティア団体等は年々増加しています。私たちは、みなさんの支援拠点として、これからも社会貢献活動の輪を広げて参ります。徳島市の東の端、沖洲にお越しの際は、プラザまでぜひお立ち寄りください。(向井 亜里紗)

吉野川をきれいに!
 参加団体、募集中。
 吉野川交流推進会議
 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
 県民環境政策課内
 TEL 088-621-2743
 FAX 088-621-2758
 E-mail office@yoshinogawa.org
 http://www.yoshinogawa.org/

地域生活支援と私



社会福祉法人池田博愛会
指定障害福祉サービス事業所セルプ館
係長・サービス管理責任者 曾我部 新

私が勤めている社会福祉法人池田博愛会は、今年度55周年を迎えます。現在16の施設があり、児童から高齢者まで、多岐に渡る事業を展開しています。私が福祉の仕事に携わって11年、制度改革や法整備がなされ、目まぐるしい変化への対応に戸惑いながらも、福祉の骨組みはしっかりとしたものに

なってきたと感じています。現在、社会福祉法人には「地域における公益的な取り組みをはじめ5つの改革」が求められています。当法人においても、公益的な事業として「博愛まつり」「理事長杯争奪球技大会」「博愛ふれあいフェスティバル」と、地域住民や関係機関の協力のもと、施設利用者や地域住民が交流できるイベントを40年に渡り継続してまいりました。



割り箸生産活動の様子

流拠点施設とことんの里(仮称)を建設する運びとなりました。地域住民はもちろんのこと、子供も高齢者の方も障害のある方々も共に交流し、移住者や若い世代の働く場作りに努めていきます。このように、福祉は広域で垣根を越えた地域づくりの中核を担い、今後の地域の担い手として取り組むことが社会福祉事業には大切であると感じます。さらにそれが、県西部の福祉事業の充実と、地域の活性化のみならず、人が集まり、賑わうまちづくりにも繋がることを目標に、法人一体となって取り組んでいます。

さて、私自身が配属しているセルプ館は、障がい者の方と一緒に行う活動です。私自身は「利用者の方々の生活の質を向上させること」を目標に、真摯にニーズに添えていくことが一番の基本である。と指導いただいたこの言葉を忘れず、いつも楽しく元気に、これからも精進していきます。

(※注釈) 利用者工賃とは、「利用者」に、生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額のこと。



地域交流拠点イメージ図

卓越した価値を提供し、地域・お客さまと成長していく良き「パートナー」をめざします

環境にやさしい銀行を目指し、環境保全活動に取り組んでいます。

地域密着 一等星銀行へ

阿波銀行 <http://www.awabank.co.jp/>

つぎあえびとくぎん 徳島銀行 <http://www.tokugin.co.jp>

「NPO・ボランティアおためし体験事業」にご協力いただける団体を募集しています

「NPO・ボランティアおためし体験事業」は、社会貢献活動に関心のある人や、これから始めようと考えている人が、実際のNPO活動やボランティア活動を体験する事業です。

体験させていただける活動がある団体は、とくしま県民活動プラザまでお申し出ください。

<お申し出方法> 申込み用紙に必要事項を御記入の上、持参または郵送、FAX、メール等にて提出してください。

<決定> 申込書を受けて、内容を検討のうえ決定します。



預託 ●一般財団法人四国電気保安協会徳島支部四国電気保安協会労働組合様より、障害者支援施設れもんへ絵本の御寄贈 ●株式会社サニクリーン四国徳島支店様より、常楽園へクリスマスケーキの御寄贈 ●一般社団法人生命保険協会徳島県協会様、徳島県に働く生保の仲間様より、小松島市社会福祉協議会へ福祉巡回車両の御寄贈 ●公益財団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会徳島県協会様より、上板町社会福祉協議会へ福祉巡回車両の御寄贈と福祉施設10箇所へ車椅子の御寄贈 ●一般社団法人生命保険協会徳島県協会様より、障がい者を支援する2団体へ資金助成 ●公益社団法人全日本司厨士協会徳島県本部様より、鳴門子ども学園へ施設訪問による料理の御提供 ●日本中国料理協会徳島支部様より、常楽園へ施設訪問による料理の御提供 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より、障害者支援施設しあわせの里へ施設訪問による散髪等の御提供 ●認定特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ様より、児童養護施設へ小・中・高校生のNPO・ボランティア活動体験事業 子どもが生き生きと活動するまち「プラザタウン」の御招待

ありがとうございます

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!! 平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

保険金額		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 入院中の手術		65,000円	100,000円
	手術 外来の手術		32,500円	50,000円
賠償の補償	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)		
タイプ	プラン	保険料
基本タイプ	Aプラン	350円
	Bプラン	510円
天災タイプ(※)		
	Aプラン	500円
	Bプラン	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが「天災危険担保特約条項」、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。



保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) 送迎サービス補償 (傷害保険) 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます)
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

上勝町社会福祉協議会



お年よりと冷たいものを作り隊

このような日々の中、社協のこれまでの30年の歩みには、これまでに関わってきた

地域の福祉関係団体との繋がりがあること、住民やボランティアによる地域力を活かした支援を続けていける強みがあることに気づかされます。今後も地域の方々を協力し、地域福祉に向き合うことを探っていきます。



かみかつTICチャレプロ子ども社

社協業務としては、生活困窮者支援事業や日常生活自立支援事業を通じた対応をはじめとする個別支援が増え、弁護士等の専門家や関係機関とのやりとりも増えてきました。このような日々の中、社協のこれまでの30年の歩みには、これまでに関わってきた地域の福祉関係団体との繋がりがあること、住民やボランティアによる地域力を活かした支援を続けていける強みがあることに気づかされます。今後も地域の方々を協力し、地域福祉に向き合うことを探っていきます。

法人設立30周年を強みに

社協の実践

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

上板町社会福祉協議会

「上板町福祉委員会」が設立されたのは昭和57年で、永年にわたる福祉委員の活動は、住民主体による地域福祉推進の基盤となっています。今後は、少子高齢化による福祉ニーズの変化にも対応できるよう、リーダー役としての活躍も期待されます。

身近な福祉活動の広がりを目指して

上板町社会福祉協議会には、民生委員児童委員と密接な連携を保ちながら地域福祉の向上を図ることを目的とする「上板町福祉委員会」があり、この「上板町福祉委員会」の福祉委員は、3年間の任期で、町内27地区に1人ずつ配置され、ボランティアとして活動しています。また、福祉委員は、高齢者世帯等への訪問をはじめ、社会福祉施設への交流活動や地域行事への参加などの様々な福祉活動に取り組んでいます。



高齢者施設などへの交流訪問活動



もしもの時の「あんしんカード」

南部ブロック災害ボランティアセンター運営者研修 美波町

複数の市町村社協が連携して実施する災害ボランティアセンターの設置・運営の体制づくりを支援するとともに、改めて地域の多様な職種・機関との連携や支援活動体制の構築を目的として開催。
内容：「鳥取県中部地震における要支援者の状況把握と対応」「被災地NPO協働センターの活動」についての講義・演習等



西部ブロック合同訓練 つるぎ町

新たに職員となった者や基本を再確認したい職員を中心に災害時に担うべき社協本来の役割や、社協間の相互の支援体制の整備、災害ボランティアセンターの運営ができる体制づくりを目的として開催。
内容：講義や災害ボランティアセンターにおけるニーズ受付とマッチングの模擬演習、事例検討(クロスロードゲーム)等。



平成29年度 災害ボランティアセンター体制整備支援事業

災害ボランティアセンター設置模擬訓練 徳島市

災害ボランティアコーディネーター養成講座修了生や地域住民等と共に購入した資機材を利用した訓練を実施することで、地域の多様な機関との連携や支援活動体制の構築を築くことを目的として開催。

内容：タブレット端末を活用した「災害ボランティアセンター設置バーチャル体験」や「東南海・南海地震に備えて」の講義、津田中学校防災学習倶楽部の実践発表

